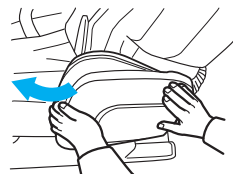


肩部の使い方

肩部は、収納式になっています。お使いにならない時は奥へ収納することができ、ご使用時には前へ、おこのみの位置へ2段階に出すことができます。

ご使用時に前へ出す場合



両手で肩部を持ち、前へ引き出して、「カチッ」と音がしてロックするところで止めてください。

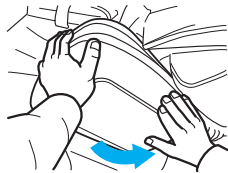


もう一段階出す場合は、そこからさらに前へ引き出して、「カチッ」と音がしてロックするところで止めてください。

ご使用後に後ろへもどす場合



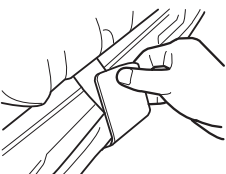
収納する場合は、前側を一度強く押してロックを解除してください。



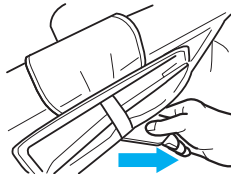
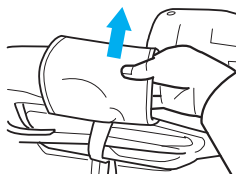
後ろの収納位置へ引きもどして、「カチッ」と音がしてロックするところで止めてください。

腕部の使い方

腕のマッサージ部は、座部両側のベルトで調節できます。



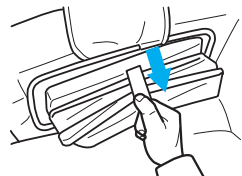
腕のマッサージをご使用のときは、ベルトの面ファスナーをはがして、腕のマッサージ部を引き出してください。



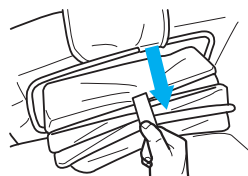
収納時は、ベルトを引っ張り、面ファスナーをとめてください。

座横部の使い方

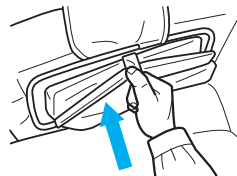
座横部は、腰幅調節式になっています。腰との間に隙間がある場合は、おこのみの位置へ4段階に出すことができます。



座横部を出すには、真ん中のベルトをにぎって、おこのみの位置まで、引き出してください。(4段階まで調節可能)

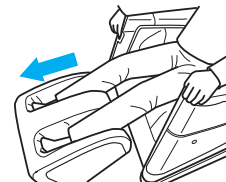
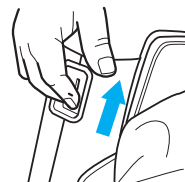


収納する場合は、ベルトを強く引いてロックを解除し、そのまま押しもどしてください。



脚部スライドレバーの使い方

脚部の位置は、右側肘部下のレバーで調節できます。



右側肘部下のレバーを引き上げながら、脚部を脚で押すと伸びますので、おこのみの位置に調節して、レバーを放してください。

脚部は、おこのみの位置で止まります。

使用後はレバーを操作して、脚部を縮めてください。

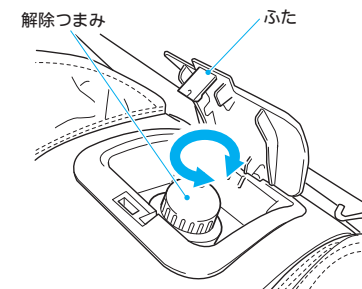
解除つまみの使いかた

停電などにより使用中に脚をはさんだまま、脚部モミボードが閉じた状態で停止した場合は、脚部上部のふたを開き、中の解除つまみを軽い方へ脚が抜けるまで回しつけてください。(30回以上)

動作中にはふたをあげないでください。

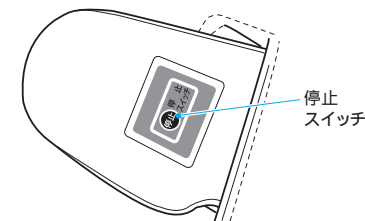
緊急停止します。

(動作中にふたを開けて停止した場合には、ふたを閉めてから電源スイッチを切り、あらためて電源スイッチを入れてください。)



停止スイッチの使いかた

リモコンを操作せずに動作中にすぐに動作を止める場合は、左肘部上にある停止スイッチを押して、動作を止めてください。



停止スイッチ

各部のなまえとはたらき

リモコン

「終了」ボタン
動作を終了し収納動作を行います。

自動コース選択ボタン
自動コースの種類を選択します。

「肩」ボタン
自動コース時の肩部エアーマッサージの入/切を行います。

「腕」ボタン
自動コース時の腕部エアーマッサージの入/切を行います。

「幅調整」ボタン
全体・部分(ローリング)・たたきの幅の調整を行います。

「肩位置」ボタン
肩位置の高さ調整を行うときに押します。

「たたき」ボタン
たたきマッサージのモード選択と入/切を行います。

「全身」ボタン
全身のローリングの入/切を行います。

「肩」ボタン
肩部エアーマッサージの入/切を行います。

「出す」「収納」ボタン
脚マッサージを行う時にします。

タイマー表示
マッサージ残り時間を表示します。

「停止」ボタン
全ての動作を停止します。
(すぐにマッサージを停止したいときに押してください)

「肩位置」ランプ
肩位置検索中に点滅します。

「脚」ボタン
自動コース時の脚部エアーマッサージの入/切を行う。

「座」ボタン
自動コース時の座部エアーマッサージの入/切を行います。

「上下」ボタン
もみ玉の位置調整を行います。

「もみ」ボタン
もみマッサージのモード選択と入/切を行います。

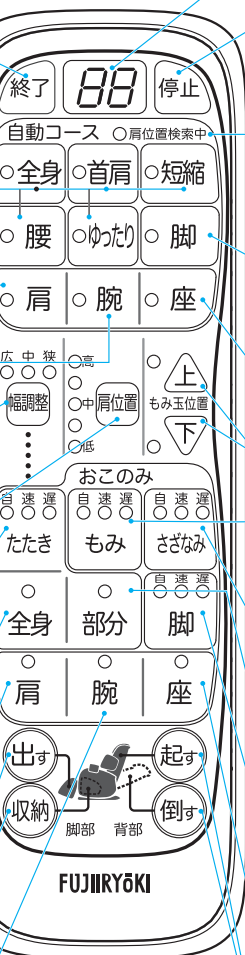
「さざなみ」ボタン
さざなみマッサージのモード選択と入/切を行います。

「部分」ボタン
部分ローリングの入/切を行います。

「脚」ボタン
脚マッサージのモード選択と入/切を行います。

「座」ボタン
座部エアーマッサージの入/切を行います。

「起す」「倒す」ボタン
背もたれのリクライニング角度の調整を行います。



安全上のご注意

FUJIRYOKI



- 次の人は、使用しないでください。
医師からマッサージを禁じられている人。(例：血栓[そく(塞)栓]症、重度の動脈りゅう(瘤)、急性静脈りゅう(瘤)、各種皮膚炎および皮膚感染症(皮下組織の炎症を含む)など)
- 次の人は、使用前に医師に相談してください。
(1)ペースメーカーなどの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器を使用している人
(2)悪性しゅよう(腫瘍)のある人(3)心臓に障害のある人(4)妊娠中の人または、出産直後の人
(5)糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人(6)皮膚に創傷のある人
(7)安静を必要とする人(8)捻挫、肉離れなど炎症性の人
(9)体温38℃以上(有熱期)の人
(例：急性炎症症状[けん(倦)怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期。衰弱している時。)
(10)骨粗しょう(鬆)症の人、せきつい(脊椎)の骨折、急性[とう(疼)痛性]疾患の人
(11)背骨(脊椎)に異常のある人または、背骨が左右に曲がっている人(12)椎間板ヘルニア症の人
(13)その他、身体に特に異常を感じているときや、医療機関で治療中の人
- 子供だけで使わせたり、自分で意思表示できない人には使用させない。また、幼児を近づけない。
- 子供に椅子の上で遊ばせたり、上に乗らせない。
- リクライニングをするときは、うしろや椅子の前、下などに人やペット、物が無いことを確認する。
- ご使用前に背もたれ部の布地が破れていないか確認し、その他の部分にも破れがないか確認する。
(どんなに小さな破れでも、直ちに使用を中止し電源プラグを抜き、修理を依頼してください。)
- 取扱説明書を十分お読みの上、正しくお使いください。
- 絶対に改造しない。また、ご自分で分解、修理をしない。
- 使用後は安全のために、電源スイッチを「切」にしてください。
- アースを確実に取り付ける。アースなしでは使用しない。